

科目区分	専門分野Ⅱ	授業科目	老年看護学方法論Ⅰ
講師名	藪下めぐみ 春口 優紀	実務経験の有 無	2名とも有
単位数(時間)	1単位(30時間)	開講年次	2年次 前期
講義の概要 *講師からの メッセージ	高齢者の加齢による精神的・身体的・社会的変化を考えながら、高齢者の日常生活の援助方法を学びます。		
目的：高齢者の日常生活動作をふまえ、日常生活援助の基本を学ぶ。 目標： 1)高齢者の日常生活動作をふまえ、日常生活援助の基本を学ぶ。 2)ライフステージの最終段階にある対象のQOLを充実させるための看護を理解する。 3)高齢者の生活における特徴的な変調を理解する。			
回	時間	講義内容	
1	2	日常生活動作のアセスメントと動作	1. 歩行・移動動作・姿勢保持の援助 2. 転倒・転落の発生要因と予防 3. 転倒による影響
2	2	廃用症候群のアセスメントと看護	1. 加齢による廃用症候群の病態と要因 2. 廃用症候群のアセスメント 3. 廃用症候群の予防と援助
3 4	4	高齢者の生活を支える看護	1. 高齢者模擬体験 2. 歩行の援助・転倒予防
5	2	高齢者総合機能評価	日常生活動作 手段的日常生活動作 認知機能 情緒・気分 社会的環境
6	2	高齢者の食事・食生活	1. 高齢者にとっての食事の意義 2. 高齢者の食事・食生活の特徴 3. 高齢者の食生活の援助 4. 口腔ケアの実際
7	2	嚥下機能が低下している高齢者への食事ケア	演習 高齢者の食事援助の実際
8	2	高齢者への排泄ケア	1. 高齢者の排泄の特徴 2. 高齢者の排泄障害のアセスメントとケア
9	2	清潔・衣生活	1. 清潔の意義 2. 高齢者の身体変調 3. 清潔のアセスメントと看護
10	2	高齢者の更衣・排泄・清潔の援助	・高齢者の事例をもとに、高齢者の排泄ケア・更衣・清潔の援助の実際 ：振り返りのレポートあり
12	2	高齢者の生活リズムへの看護	1. 高齢者の生活リズムの特徴的変調 2. 生活リズムのアセスメント 3. 生活リズムを整える看護
13	2	高齢者のコミュニケーション	1. 高齢者にとってのコミュニケーションとは 2. 高齢者のコミュニケーションに影響を及ぼす要因
14	2	高齢者のコミュニケーション	1. 高齢者のコミュニケーションの特徴

			2. 高齢者のコミュニケーションの方法
15	2	単位認定試験 筆記試験	
講義方法		(講義20時間 , 演習10時間)	
評価方法		単位認定試験 筆記試験 (90点) ・課題レポート (10点)	
テキスト		医学書院：系統看護学講座 専門分野Ⅱ, 老年看護学 第9版第1刷	
備考			